



2025年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社 フルッタフルッタ  
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員CEO 長 澤 誠  
(コード番号 2586 東証グロース)  
問 合 せ 先 管理部長 野呂 広利  
TEL. 03-6272-3190

### 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表いたしました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」におきまして、これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社は、前会計年度末において、継続して営業損失、経常損失、当期純損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりました。

このため、当社は以下の各施策によって、事業面及び財務面の安定化を図り、当該状況の解消、改善に努めてまいりました。

当社は、当該事象を解消すべく、徹底的なコスト管理・コスト削減、成長するアサイー市場に向けた販売拡大への取り組み、資金の確保の各対応策の実施により、現時点において継続的な営業損失、経常損失、当期純損失は解消し、資本増強のため、2023年12月に第11回乃至第13回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行並びに第14回及び第15回新株予約権(行使価額修正条項付)を発行し、当会計年度において第11回新株予約権及び第15回新株予約権の権利行使により1,683,777千円を調達し、当該新株予約権については行使完了いたしました。これにより、当会計年度末における現金及び預金は1,886,776千円と、前会計年度末比1,509,051千円増加しており、当会計年度末における純資産は2,955,961千円となり、前会計年度末比1,980,184千円増加し、重要な資金繰りの懸念も解消されております。

上記に加え、当社が主力とするアサイー市場におきましても、引き続き盛り上がりを見せており、当社の業績は販売拡大傾向にあります。

従いまして、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象等について重要な不確実性は認められないと判断しており、「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」におきまして、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

株主、投資家及び取引先の皆様をはじめ、市場関係者並びにステーク・ホルダーの皆様には、ご心配をおかけいたしました。今後とも、当社として更なる業績改善及び、将来を見据えた成長投資を進め、企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上